

3年生の先生から



先生たちの
お気に入りの本を
しょうかい！

「もこ もこもこ」

このお話は、先生のこどもが小さいときにはじめて読んであげたえほんです。しーん もこ もこもこ によき もこもこもこ によき によき ばく もぐもぐ つん ぼろり ぶうっぎらぎら ばちん ぶんわぶんわ しーん もこ おしまい

かんたんなことばでくりかえししようすをあらわしているところがとてもすきです。また、ちいさいこがはじめてことばをはなすこともかんどうてきでした。きっと、みなさんもそんな一さつがあるとおもいます。こんどおしえてくださいね！

1組 担任



「あらしのよるに」

このお話は、くらやみの中で出会ったオオカミとヤギが、おたがいになかまだとかんちがいて親友になる話です。本当なら、食べる・食べられるのかんけいであるオオカミとヤギが、おたがいをよく知ってなかよくするように、どんな人とも心を通わせてなかよくできたらすてきですね。お話の終わりには、友だちのためにがんばる2ひきのすがたになみだが出てきます。

みなさんも、大切な友だちを思いうかべて読んでみてくださいね。

2組 担任

「教室はまちがえるところだ」

この本は、先生が新しいクラスになって一番さいしょにみんなに読みたいと思っている本です。「3年生になって、ベンきょうむずかしいかな」「まちがったりしないかな」もしかしたら、そんなふうにな不安に思っている人がいるかもしれません。先生は、よくいろんなまちがえをします。でもまちがえることは、つぎにせいこうするためのたいせつなステップです。まちがえることをおそれずに、みんなにがんばってほしいな、と読んでこの本をえらびました。

3組 担任

